

南信州広域連合第12回広域連合会議 結果報告

日時：令和7年3月18日(火) 14:15～:15:27

場所：はにかむべーす 201・202 号会議室

【出席者】14市町村長(松川町副町長)、副管理者

〔JR東海中央新幹線長野工事事務所〕小池所長

〔飯伊地区包括医療協議会〕原会長

〔南信州地域振興局〕岩下局長、宮島副局長(長野県建設部リニア整備推進局代理)

〔飯田建設事務所〕唐澤所長

〔飯田広域消防〕北澤消防長、下平消防次長兼総務課専門幹

〔飯田環境センター〕原管理係長

〔事務局〕吉川事務局長、滝沢事務局次長兼総務課長兼地域医療福祉連携課長

壬生広域振興係長、伊藤庶務係長、宮崎主事

1 開会…14時15分

2 広域連合長あいさつ

令和7年3月17日に新田副知事が就任され、南信地域及び木曽地域を担当する。これまでも建設部長時代にお世話になっているが、これからますます各種相談を行っていききたい。また機会を作って意見交換をしていきたい。皆さんと一緒に新田副知事やこの地域を盛り上げていきたい。

今日の報告事項にもあるように、南信州ナンバーについては、令和7年5月7日から交付が開始する。飯田市でも市長車、副市長車については、南信州ナンバーに変更しようと考えている。各町村においても可能な範囲で順次付け替えをお願いしたい。

3 協議・報告事項

(1) リニア中央新幹線について～資料No.1～

ア 長野県リニア整備推進局から【宮島副局長】

※リニア中央新幹線をめぐる最近の動きについて、資料を基に説明がなされた。

イ JR東海中央新幹線長野工事事務所から【小池所長】

※各市町村における工事の進捗状況について説明がなされた。

→質疑等なし

(2) 大規模災害医療救護計画について【原会長】～別冊資料～

本計画の契機となったのは、阪神淡路大震災であり、能登半島地震を教訓として今回全面的な計画改定を行った。以前の計画では、自治体が救護所を設置して、そこへ医療救護班が駆け付けるといった内容であった。しかし、能登半島地震を事例とすれば、道路網は寸断するということを前提とした計画へ改定することが望ましいと判断した。

※大規模災害医療救護計画に基づいて、計画内容の説明がなされた。

(主な意見等)

売木村：売木村は、医師が診療所にいないが、看護師が対応しても良いのか。

原会長：イメージとしては、新野診療所を緑対応としているため、売木村も守備範囲にしなければならないと考えている。売木村から相談を頂いたら、売木村の診療所を開けて頂き、売木村の診療所と新野診療所をリモートで繋ぐ。自治体の保健師や看護師等の診療所の職員が診療所へ行って開けることは、実効性が高い。リモートで繋ぐことができれば、トリアージができ、処置の指示が出せる。平谷村でも同様のことが言える。とにかく医師と繋げることが重要になる。緑対応の医療機関をいかに増やしていけるかが課題になる。

連会長：ドローンの実装については、飯田市と喬木村は ASOLAB と協定を締結して、いざというときは持って来て頂ける体制を取っている。それぞれの自治体でドローンを持つことは大変なので、協定等で手段を用意しておくことを検討頂きたい。

(3) 元気づくり支援金を活用したプロジェクトの実施状況について【壬生係長】～資料 No. 2～

令和 6 年度に広域連合が実施若しくは、負担金を支出した長野県地域発元気づくり支援金を活用した事業の実施状況について報告する。

- ・南信州環境メッセ 2024
(広域連合負担金：800 千円、元気づくり支援金予定額：4,055 千円)
- ・つながり人口創出に向けた南信州広域連携事業
(元気づくり支援金予定額：1,405 千円)
- ・マーケティングの視点による持続可能な地域づくりプロジェクト
(広域連合負担金：1,000 千円、元気づくり支援金予定額：4,037 千円)
- ・民俗芸能保存継承プロジェクト
(広域連合負担金：500 千円、元気づくり支援金予定額：2,403 千円)
- ・新中日ビルを活用した南信州地域の PR プロジェクト
(元気づくり支援金予定額：2,720 千円)

→質疑等なし

(4) 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画及び災害廃棄物処理計画の策定について【原係長】

～資料 No. 3-1 から 3-4 まで～

※令和 7 年 1 月 17 日(金)の連合会議で示した南信州広域連合一般廃棄物(ごみ)処理基本計画及び災害廃棄物処理計画の変更点について説明がなされた。

(主な意見等)

連会長：災害ごみの設定について、わかりにくい部分があった。本編ではどこになるか。

原係長：本編では 35 ページに記してある。通常時は 280 日が基準だが、災害時は 310 日で処理をすると記載している。ごみ量を減らすことによって 30 日分の稼働を増やしている。

連会長：今日説明のあったものをパブリックコメントにかけた後に、各市町村の担当者での会議で最終確認し、確定していく。

(5) 構成市町村職員の共同採用試験について【滝沢次長】～資料 No. 4～

令和 7 年度の専門職の募集を予定している自治体があることから、令和 7 年度も引き続き職員採用共同試験を実施する。試験の内容について、令和 6 年度と変更点はない。

対象職種は、保健師とし、保育士については、ブロックごとの共同採用試験等について引き続き研究していく。

→質疑等なし

(6) 南信州ナンバーの交付開始について【壬生係長】～資料 No. 5～

令和7年2月28日に国土交通省から交付開始日は令和7年5月7日(水)に決定した旨の報道発表があった。これから問い合わせが増加することが予想され、3月3日に松本自動車検査登録事務所で既に使用されている自動車のナンバーを南信州ナンバーに変更する手続きについて、説明を受けた。

※資料を基に南信州ナンバーへの変更手続きについて、説明がなされた。

→質疑等なし

(7) 令和7年度 SENA 委員の選出及び監事の推薦について【壬生係長】～資料 No. 6～

三遠南信地域連携ビジョン推進会議の委員の選出について依頼があり、副会長は規約により飯田市長となる。委員については、令和7年度においても令和6年度に引き続き副連合長であり、下伊那郡町村会長の豊丘村長にお願いする。監事については、町村会の幹事でもある下條村長にお願いしたい。

→異議なく、承認となる。

(8) 飯田広域消防から

たき火火災ゼロ運動の実施要領について【壬生係長】～資料 No. 7～

実施期間：令和7年3月1日(土)から3月31日(月)まで

実施内容：チラシによる啓発

掲示物による啓発

広報誌等の掲載

啓発及び広報

たき火注意喚起

→質疑等なし

(9) 南信州いいむす21 登録判定について【壬生係長】～資料 No. 8～

【新規】

有限会社ヒラサワ 76pt ★8

【更新】

有限会社ピーエーピーアライ 97pt ★10

飯田清掃株式会社 74pt ★8

→異議なく、承認となる。

(10) 後援依頼について【伊藤庶務係長】～資料 No. 9～

事業名 第10回うるぎトライアルRUN

期 日 令和7年10月12日9時00から13時00分まで

場 所 売木村内

主催者 うるぎトライアルRUN実行委員会

→異議なく、承認となる。

(11) その他

ア 消費生活センターについて【吉川局長】

令和7年4月1日から飯田市消費生活センターで飯田下伊那全体の相談を受ける体制に変わる。各市町村においても広報等お願いしたい。

イ 大阪万博について【高森町長】

獅子舞の保存会から令和7年7月13日の大阪万博への出演依頼があり、引き受けたが、予算が厳しいため町で何とかしてほしいという依頼があった。民俗芸能協議会でお金を出して頂けるという認識で良いか。

(主な意見等)

吉川局長：獅子舞に関して、こちらから予算を提示して、協力頂けるという返答を頂いている。予算的に難しいということがあれば、広域連合としても、組み立てを工夫する等の検討をしたい。

高森町：地域の民俗芸能を広める活動なので、協力したい。演目の時間が短いと聞いている。大荷物を持って行って30分弱の公演では悲しいという話があった。また、出演はできるが、その場の見学はできないと聞いている。せっかく行くので、楽しめる計画づくりをお願いしたい。費用のことは相談頂ければ考える。

吉川局長：その日は1日南信州が確保しているので、その中で調整は可能であると考えている。宿泊するとすると予算的に難しい。日帰りの範囲で計画すると演目の時間が長時間取れない。また、調整したい。

4 長野県から

南信州地域振興局【岩下局長】

・元気づくり支援金の見直しについて

※地域発元気づくり支援金令和7年度の見直しについて、資料を基に説明がなされた。

・みすずハイウェイバスについて

令和7年4月1日から1日7往復に増便される。

・消費生活センターについて

県内の消費生活センターが令和7年4月1日から松本に集約される。地域の方の利便性を確保するため、長野県合同庁舎でもオンライン相談や出張相談を行っていききたい。

5 当面の日程について

6 その他

7 閉会・・・15時27分